

## 令和6年度タウンミーティング 守谷C地区

開催日時 令和6年5月26日(日) 15:30~17:00

開催場所 守谷中央図書館 視聴覚室

出席者 市民11名

### 議事内容および要旨

#### 【開会】

#### 【市長挨拶・説明】

資料「未来へつなぐもりやビジョン」に基づき説明

#### 【主な意見と回答】

##### (参加者)

市政に関するITの活用についてご意見させていただきます。黒内小学校の過大規模校の問題等を初めとして、SNSを通じて不信感みたいなものを感じますが、その要因の一つとして、公式アカウントでは、市が何をやっているかは把握できても、どのような考えに基づいてやっているかというところが見えにくいと感じます。これから若い方の転入が増えていくことを考え、ITの活用が必須です。市長にご意見を申し上げたいときにどのようにしたら良いでしょうか。

##### (市長)

窓口は、秘書課に連絡いただいても結構です(市長との対話制度あり)。都合の付く限りお会いしたいと思います。

##### (参加者)

バイクの騒音が、平日、休日にかかわらず、夕方から夜中にかけてひどい状況です。見かける度に取手警察署に通報させていただいていますが、今のところ、全く改善に向かった動きがありません。これは最近の話ではなくて、以前からのようでして、今に至るまで守谷市として何かしら取手警察署と連携して対策を取ってきたのでしょうか。対策を講じているのであれば、なぜ改善されないのかお教えてください。

##### (生活経済部長)

交通規制になってしまい、市には権限がありませんので、取手警察署に対策をお願いしています。また、取手警察署に対して、市としてできることがあったら対応したいとは伝えております。ここ数年、特に多くなってきていますが、市が独自にできる施策というのがないのが現状でございます。

##### (市長)

バイク騒音が、どこから始まってどこで終わるかというのもわからない状況です。風向きによっては常磐自動車道を通るバイクの騒音ということもございます。市としても悩ましいことではありますけれども、警察署にお願いをしていく以外ないというのが現状でございます。

(参加者)

取手警察署から、協力依頼はないのでしょうか。

(生活経済部長)

今のところ依頼もございません。

(参加者)

組織体制についてですが、組織運営に関して、現状の課題と感じている点がありましたらお教えてください。

(市長)

職員である人材をどう確保していくか、人口が増えている中で、専門職を確保することが難しい状況です。また、自治体職員の意識が指示待ちという体質があると思っています。私は、市長になってから職員に対し、決裁の度に、今年は去年と同じではないから、去年と同様であるという理由はないと話しています。本質的なところを見て、この事業はなぜ必要なのか、この予算がなぜ必要なのかということをしきりと説明できるようにならないとだめだと話しています。また、国がそうだからとか、県がそうだからという、そういう時代は、地方分権一括法の施行とともに終わったので、市民にとってこの事業が本当に必要なのかということをも市民目線で考えた中で、事業を考えてほしいと言いつけました。最近、職員の意識も変わってきましたが、まだまだ改善が必要だと思っています。

(参加者)

私は、通学区域審議会に委員として参加させていただいています。先ほどから市長のお話を聞いていて、市長は自らお話を聞いてくださる方だと思っております。私は、審議会のあり方というものに疑問を感じていまして、今回、通学区域審議会においていろいろ大変なことがあり、ツイッター等では、審議会の審議でこのような結果になってしまったというようにたたかれています。委員である私たちとしては、どこから上がってきたか分からない話や資料を出されて、どうですかと聞かれ、私は意見を言うのですが、それが反映されない状況にあります。このような状況で、地域の声を聞いたということにしてほしくないと思っています。私は、子どもがいて当事者なので、当事者の目線で話ができますが、ほかの地域の方は当事者ではないので、なかなか意

見が言えないという委員もいらっしゃるのも事実です。当事者であり、困っている方がどのように意見を言えば、当事者の困っている声が届くのかということ、審議会のあり方、審議会の審議のあり方も検討していただきたいと思っています。また、私は、去年から審議会において、新設校を建ててほしいと発言してきました。アンケートでも新設校を建ててほしいという声がありましたが、市では検討されていなかったということがあり残念でした。市議会議員からも新設校について検討していただきたいという声があり、これから検討組織を立ち上げて、検討していきますと回答が議事録にありましたが、現在、検討がどの程度進んでいるか、本気で建設する気があるかを知りたいと思っています。新設校を建設する決定権は、市長であると思っています。最後に、学校だけではなく、ぜひ複合施設もつくっていただきたいと思っています。

#### (市長)

審議会のあり方ですが、これは、市民の皆様を集めて審議会という形式的に承認機関をつくったに過ぎないと思っています。かつては、審議会に市議会から議員に委員として出ていただいたこともあります。後から議員も出ている中で審議した結果であると指摘されかねないので、審議会に議員は出なくなりました。形式的なものである場合、無駄ですので廃止することも考えられると思います。今、多くの市民の皆様にもりんふおを登録いただいておりますので、この中でアンケート機能も充実しているということで、郵便で通知を出さなくても、アンケートで意見を募集することもできます。今後、行政が市民の皆様からご意見を拝聴するに当たっては、CRMの視点、リレーションシップマネジメントのCRM、市民型のCRMという部分を充実させていくことによって、直接的に市民の皆様から忌憚のないご意見を頂戴できると思います。もし、審議会を継続するのであれば、形式的ではない審議会にしていかなければいけないと思っています。例えば、まちづくり協議会は、地域の問題点、課題というものを抽出していただけるような組織になっているはずでございますので、そういうところとの情報共有、情報交換ということも必要であると考えています。それをもっと進化させれば、先ほど申し上げましたように、CRMで市民一人ひとりの結びつきの中で行政のかじ取りをしていく時代が間もなく来るのではなかろうかと思っています。新設校については、教育委員会において、これからの全体的な学校のあり方を含めて検討したいということでございますので、今、どの段階まで進んでいるか教育部長から説明いたします。

#### (教育部長)

教育委員会だけで方針を決めるのではなく、市の企画部門や財政部門も含めて、検討会ということで、4月下旬から、毎月一回、定期的に会議を開いている状況です。最終的には年度末までに、市長に報告できるよう進めていきたいと思っています。新

設するかしないかの是非を庁内で検討し、それをもって第三者委員会のような形で、専門家の方等に意見をいただき、その上で、最終的に市長に報告して、最終的な判断をいただく予定であります。

#### (参加者)

市民のニーズに合った行政サービスということでは、黒内小学校の保護者のニーズには応えていただけていないと感じています。私の息子は黒内小学校に通っていますが、学校まで送っていく機会が多くあります。そのため、学校の中を見る機会が、他の保護者よりも多いので、今の黒内小学校の状況が良く見えています。国が推奨する35人学級を超えて、今は1クラス38人ぐらいのクラス編成になっています。それはきっと教室数が足りないのも、そのような状態になっていると思いますが、この低学年1クラスに38人の児童を押し込んで、先生が子どもたちを見ることができているのか、先生のご負担が非常に大きいのではないかと感じています。授業参観で、子どもたちは、先生の言うことが聞こえていないのではないかと感じました。この状況を1年間続けていくことを危惧している保護者が多く、授業参観の後、何人かとLINEを交換して、本当に1年間やっていけるのかな、と先生を心配しています。また、黒内小学校は、毎日外遊びができません。毎日外遊びができなくて、学校に行きたくないと言っているお子さんも実際にいます。そうした子どもたち、先生に負担を日々押しつけておいて、新設校の是非を1年間もかけて答えを導き出していくことは疑問です。それに絡めて、3月の一般質問で議員が駅前再開発をどうするかという質問をされていたと思います。その答弁でランドマーク的な施設を事業者が建設するのであれば、その中に公的な施設を入れることも考えるという話が出ていました。しかし、駅前にマンションなどが建った場合は、またそこに引っ越してきた方々の子どもをどこの学校に配置するかという問題が出てきます。それであれば、今すぐに決断して、土地を見つけて、お金はふるさと納税がいつまで続くか分からないですが、そちらにぜひ1日も早くかじを切って、子どもたち、そして先生たちを守る行動を決断していただきたいと思います。子どもたちは人数が多いということで疲弊しています。教室に入れない子ども、クラスになじめなくて不登校になってしまう子どもたち、比率からしたら黒字小学校の場合は1パーセントに満たないようですが、連続的に30日以上行っていない子どもを不登校と数えるのであれば、それに準じていません。本当に行き渋りだったり、行ったり行かなかったりという子どもたちがどれだけいるかということを中心に行政は見て、対策をすぐに講じていただきたいと思います。大人はいくらでもやり直しができますが、子どもの小学校で過ごす時間は、取り返しがつかないことをもう一度行政の方たちに認識していただいて、今すぐに決断していただき

たいと、この場を借りてお願い申し上げたいと思います。

(市長)

駅前広場において再開発の計画がでてくるようであれば、様々なことも含めて検証させていただきます。

(参加者)

私は、守谷市に生まれまして 80 年以上経ちます。新しく守谷市を選んできてくれた人たちと仲良く過ごしたいと考えています。守谷市は、住宅都市整備公団などが開発をしてきました。私が良かったと思うのは、この地にまず基盤整備が先にでき、道路ができ、その上に建物が建つ、そして低層住宅が中心で開発が進んだということです。守谷市を愛する人たちが増えたと思います。市長は、守谷市の人口の最高点というか、最高でどれくらいまでは収容できるかという計画があればお聞かせください。また、市長は、現在の守谷市全体のまちづくりは、どのくらい進捗していると考えていますか。また、毎年、八坂神社のお祭りがありますが、ここ数年、歩けないほど人がきています。このような状態において、もし何らかの事案が発生すると、大変なことになると思います。混雑緩和策、逃げ道、こういうものについて、策を考えた方が良いと思っています。それからもう一つ、先ほどバイクによる騒音のことがありました。私も自分の家の周りで騒音被害があります。それで取手警察署に連絡してみました。そうしましたら、バイクの騒音被害、音については条例で規制しないと取り締まりできないそうです。ただ、騒音を出しているバイクが信号無視や物を壊したということであれば、警察が対応できますが、何もなければ対応できないそうです。

(市長)

ありがとうございます。八坂神社のお祭りについての交通規制については、今後検討させていただきたいと思います。また、人口の話でございますが、我々行政というのは場当たりのことはなかなかできないことはご存じだろうと思います。人口ビジョンに基づいた計画では 70,700 人というのが守谷市のピークの人口と推計されています。そういう中で、総合計画に基づき事業を着々と計画的に進めていく、例えば市長が変わったら、右に進んでいたことが、左に進むということがあってはならないというのが行政の総合計画でもございますので、計画に基づいて行政の執行がされているということをご理解をいただきたいと思います。守谷市における今後の取組ですが、守谷市の魅力をどう創っていくか、また、将来の財源をどのように捻出していくか、ということに注力する必要があります。ただし、計画に基づいてまちづくりをするのが行政でございますので、先ほど市長が決めればできるというようなことをおっしゃっていましたが、後々のことも考えると安易に決めることはできないと考えています。

継続的な発展、そして継続的に行政運営を進めていく上では、総合計画というものをしっかりと見据えた中で進めていかなければいけないと思っております。また、人口ビジョンの70,700人が、本当に正しいのか、それとも73,000人、74,000人までいくのかということも、社人研の推計をはじめ、様々な要素を含め、改めて検証していきたいと思っております。騒音の件は、県の条例なのか、市の条例なのか、確認させていただき対応してまいります。

#### (参加者)

私が生まれた当時の守谷町の人口は8,000人、昭和の大合併で1町3村が合併して、守谷町の人口が12,000人となり、それが今は70,000人となりました。現在、行政が駅周辺を清掃してくれています。その一方で、たばこを投げ捨てていく人がいます。駅周辺が禁煙区域であるというPRが必要であると思います。それと、私どもの住む地区には、二つの公園がありまして、一つは土塔公園で、守谷C地区まちづくり協議会で管理しています。もう一つ、しいのき公園があります。ここは、昔の五差路と呼ばれていた場所で、守谷町で一番早く信号が付いた場所です。そのような歴史を後世に語りつなぐためにも、ちょっとした記念碑のようなものがあっても良いかなと感じています。この場所の近くに守谷市の土地がありますが、今後の活用について、お考えがありましたらお聞かせください。

#### (市長)

現在、駅前イベント等の際に駐車場として使用している土地だと思っておりますが、利活用を考えていく必要があります。常総線を挟んで反対側にも、コンビニエンスストアの横に市有地があります。これらの市有地に加えて、都市計画道路の残地など目的を持たない土地も点在しています。これらの土地も隣接地の方に買っていただくことも踏まえて、利活用を考えてまいりたいと思います。

#### 【市長挨拶】

皆様、本日は、大変ありがとうございました。皆様から、様々な御意見を頂戴いたしました。特に子どもたちの学校の問題というのは、心が痛むところもございますし、この過大規模校という状態になってしまったことについては、責任を感じているところでもございますので、今後、教育委員会とともに多様な方面からの調査、また、通学している当事者の皆様のご意見も聞かせていただいて、しかるべき方向性を出してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。改めて本日はありがとうございました。